

動物実験等の実施状況

(28年度)

研究所名	九州沖縄農業研究センター
------	--------------

1. 動物実験等の実施件数等						実施件数合計 13件		
小哺乳類			大中哺乳類			鳥類		
動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数
マウス	0	0	ウシ	13	117	ニワトリ	0	0
ラット	0	0	ブタ	0	0	ウズラ	0	0
ハムスター	0	0	ヤギ	0	0	カラス	0	0
モルモット	0	0	ヒツジ	0	0			
ウサギ	0	0	イヌ	0	0			
			ネコ	0	0	爬虫類		
			サル	0	0	動物種	件数	飼養数
			イノシシ	0	0			
			タヌキ	0	0			

2. 動物実験の主な内容

①和牛繁殖経営は、子牛生産の減少、酪農経営では、後継雌牛の減少が問題となっているため、画像解析の自動化による分娩後の繁殖機能回復の早期化技術を開発するため、直腸検査や超音波画像診断装置により生殖器の変化を追跡し、分娩後の生殖器回復指標となる超音波画像データの検討を行った。

②飼料自給率向上のため、自給飼料(トウモロコシサイレージ)を最大限活用する肥育牛向け発酵TMRの給与メニューを検討するため、配合割合を変え採食量を調査し糞尿の採取を行い影響の具合を検討した。

③黒毛和種の暑熱期における繁殖障害による鈍性発情牛の発生が多いことから、「鈍性発情牛の繁殖供用」や「鈍性発情牛の受胎性の解明」に向けて人工授精時の直腸検査や体温診断等を行い検討を行った。

④酪農現場における一般的な暑熱対策は不十分であることから、高温環境下の生産性低下抑制技術を開発するために抗酸化飼料、高エネルギー飼養を給与し暑熱対策を施した牛舎内で昼間繋留し採血の上、給与効果を調査した。

⑤牛の分娩事故を防ぐために、体温の連続測定と分娩時の様態や産歴等を調査しより高度な分娩予知や事故低減を行えるようデータを記録し解析を実施した。

⑥一般的な肥育方法よりも出荷を100日間短縮する肥育プログラムを作成するために、栄養条件を検討し、日本飼養標準に即した慣行肥育との比較を行った。

⑦暑熱環境下における育成牛のナトリウム塩類添加が体躯の成長に及ぼす効果を検討した。

⑧自給飼料活用型育成導入のために離乳子牛へ牧草などの自給飼料や微生物増殖促進作用を持つ添加物を給与し飼料利用、反芻胃機能等を購入粗飼料を対象として比較検討するため、平成28年度は、対象となる粗飼料(購入オーツ)について飼料酵母の添加が飼料摂取、消化等の機能へ及ぼす影響を検討した。

⑨飼料用サトウキビ品質「しまのうしえ」より黒穂病抵抗性に優れる有望系統「KR09—6092」の品種登録に向けたデータ取得を行うためフィステル装着牛から採取したルーメン液で培養し繊維分解率を調査した。

⑩地域型大規模肉用牛繁殖システムを確立するため、繁殖経営体を核とする地域内連携と自給飼料活用を基軸とする分業化システムにより低コスト、高品質子牛生産を実現するため、平成28年度は、稲WCSを原料とする育成牛用発酵WCSを試作し指向性、第一胃機能への影響を検討した。

備考

- 〇〇の箇所には和暦を記載すること。
- 「1. 動物実験等の実施件数等」の欄は、報告する年度における動物実験等の実施件数の総数、動物種(上記に表示のない動物種による動物実験等を実施している場合は、当該動物種名を新たに記載すること。)ごとの件数及び飼養数について記載すること。
- 「2. 動物実験の主な内容」の欄は、報告する年度において実施した主要な動物実験の目的や実験方法等の内容について簡潔に記載すること。

動物実験等に関する自己点検及び評価報告書
(28年度)

研究所名 九州沖縄農業研究センター

1 所内要領

- a 規程に適合した所内要領が定められている。
- b 所内要領は定められているが、改善すべき点がある。

①改善を要する点
②改善の方針、時期等

2 動物実験委員会

- a 規程に適合した動物実験委員会が設置されている。
- b 動物実験委員会は設置されているが、改善すべき点がある。

①改善を要する点
②改善の方針、時期等

3 動物実験管理者

- a 規程に適合した動物実験管理者が置かれている。
- b 動物実験管理者は置かれているが、一部に改善すべき点がある。

①改善を要する点 以前から口頭任命となっていたため要領に明記した方が望ましい。
②改善の方針、時期等 平成29年度は、要領にて役職指定とする予定である

4 施設等の指定

- a 施設等は、動物実験委員会で審査され、規程に適合したものが適切に指定され、指定施設等においてのみ飼養管理及び動物実験が行われている。
- b 施設等の指定に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

5 施設等の維持管理

a 施設等は適切に維持管理されている。

b 施設等の維持管理に問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

6 動物実験計画の審査及び実施

a 動物実験計画は、規程に従って適切に審査、実施されている。

b 動物実験計画の審査、実施に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

7 動物実験の実施結果報告

a 動物実験の実施結果は適切に研究所等の長へ報告され、取りまとめた実施状況は理事長へ報告されている。

b 動物実験の実施結果の報告に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

8 実験動物の健康及び安全の保持

a 飼養保管や輸送において、規程に定められた実験動物の健康・安全の保持の措置が適切に行われている。

b 飼養保管や輸送において、実験動物の健康・安全の保持に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

9 生活環境の保全

- a 規程に従い、施設等及びその周辺の生活環境の保全に努めている。
 b 施設等及びその周辺の生活環境の保全に関し問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

10 人への危害・環境保全上の問題の防止

- a 規程に従い、人への危害や環境保全上の問題が適切に防止されている。
 b 人への危害や環境保全上の問題の防止に関し問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

11 安全管理に注意を要する動物実験(遺伝子組換え動物、感染症等に係る実験等)

- a 安全管理に注意を要する動物実験について、規程及び関連法令に適合した実施体制が確保され、安全に実験が行われている。
 b 安全管理に注意を要する動物実験について問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

- 安全管理に特に注意を要する動物実験は実施していない。

12 地震、火事等の緊急時の対応

- a 緊急事態に備えた措置に関する計画が定められ、緊急時の対応に問題はない。
 b 緊急事態に対する備え、対応に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

13 教育訓練

a 規程に沿って、教育訓練が実施されている。

b 教育訓練は実施されているが、問題がある。

①問題点

②改善の方針、時期等

必要な教育訓練が実施されていない。

○実施の方針、予定等

d 当該年度には、教育訓練が必要な者はいなかったため、実施せず。

- 備考
- 1 ○○の箇所には和暦を記載すること。
 - 2 該当する評価結果の□に✓印を記入すること。
 - 3 評価結果が「b」又は「c」に該当した場合は、当該評価結果の下の欄に表示している事柄について、当該欄にその内容を記載すること。